

## BNP/NT-proBNP 外来開設のお知らせ

謹啓 時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は群馬大学医学部附属病院循環器内科に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度当科では令和4年12月より BNP/NT-proBNP 外来を開設いたします。超高齢社会の本邦において、心不全患者さんは増加の一途をたどっております。BNP/NT-proBNP は血液検査で簡便に測定が可能で、心不全のリスク評価に有用なバイオマーカーです。当科ではこの BNP/NT-proBNP が上昇した患者さんに積極的に運動負荷試験を実施して心不全を早期発見し、健康寿命の延伸に貢献できるよう取り組んでおります。対象となる患者さんがいらっしゃいましたらぜひご紹介くださいますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

BNP/NT-proBNP 外来：木曜日午前

以上

令和4年11月30日

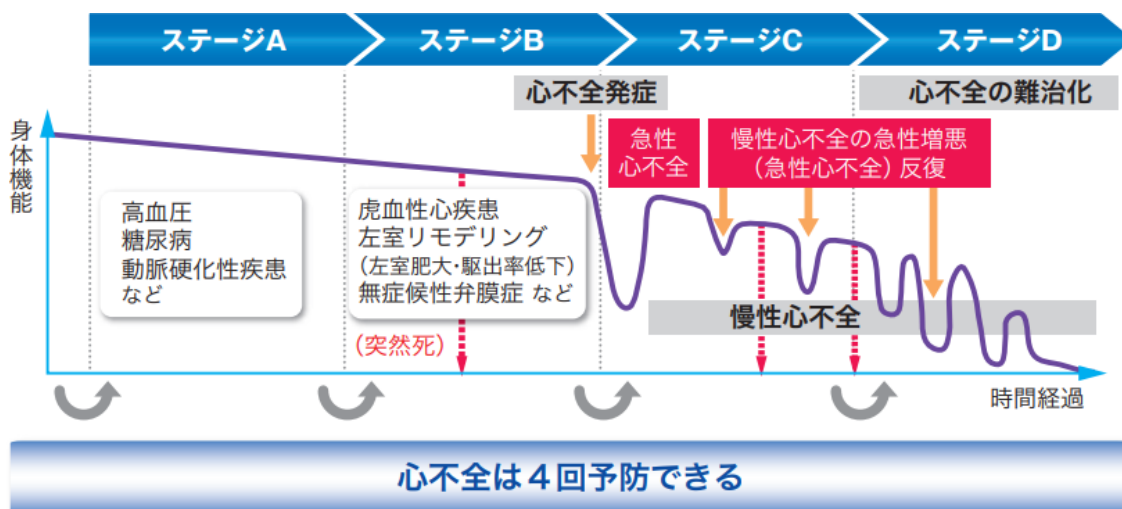
群馬大学医学部附属病院循環器内科教授 石井 秀樹

群馬大学医学部附属病院循環器内科医会長 小保方 優

# 群馬大学医学部附属病院 循環器内科

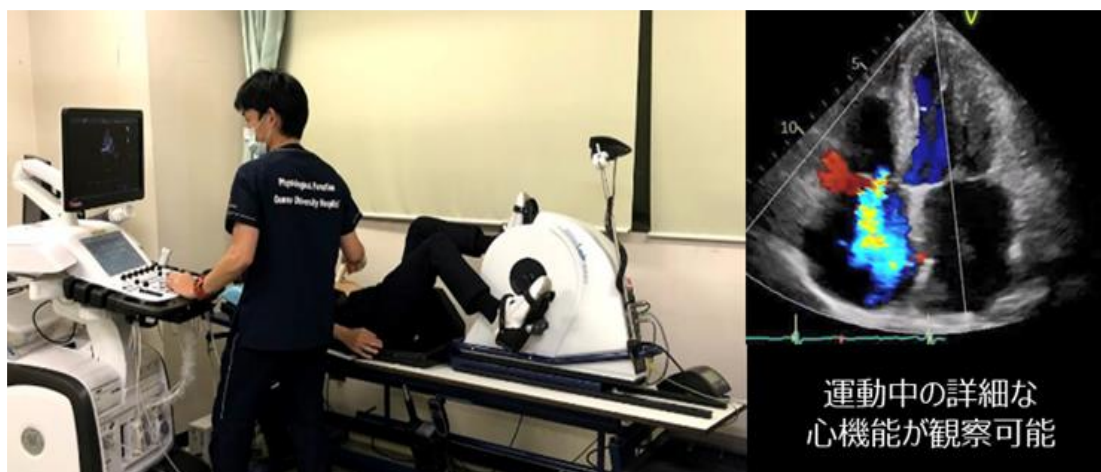
## 「BNP/NT-proBNP 外来」へのご紹介について

心不全は超高齢社会の本邦では増加の一途をたどっており、循環器疾患における喫緊の課題のひとつです。心不全で入院した患者さんの4人に1人は1年以内に死亡もしくは再入院するため、心不全は悪性腫瘍よりも予後が悪いと考えられます（\*我が国の心不全で入院した患者さんの4年生存率56%、全がんの5年生存率63%）。下図のように心不全の進行は一方通行であり、当院では心不全を発症する前の段階（ステージBからCの移行期）で「隠れ心不全」を早期診断し介入することで、心不全の進展抑制ができると考えて診療に取り組んでいます。



日本循環器学会・日本脳卒中学会 脳卒中と循環器病克服 第二次五カ年計画より引用

このような「隠れ心不全」は、息切れの出る労作時にしか異常が検出できない場合が多く、当院では自転車をこぎながら心エコー図検査を行う「運動負荷心エコー図検査」を積極的に実施しています（下図）。この運動負荷心エコー図検査はまさに息切れが出ている時点の心臓の形態や機能、圧、弁の観察が可能で、この「隠れ心不全」の診断に役立ちます。



隠れ心不全を疑うべき患者さんの特徴のひとつが**労作時息切れ**や**下腿浮腫**などの症状です。当科では本年3月より「息切れ外来」を開設させていただき、積極的に労作時息切れ患者さんの診療をさせていただいております。一方で、労作時息切れは心不全に特異的な症状ではありません。また、自覚症状はとらえにくい場合もあります。

BNP/NT-proBNP に代表されるナトリウム利尿ペプチドは、外来で簡便に測定ができる血液検査です。ナトリウム利尿ペプチドは心内圧の上昇によって主に左室から分泌されるタンパク質で、心不全が進行するにしたがって血中濃度が上昇します。このため、日本や欧米のガイドラインでも心不全の診断やリスク評価に BNP/NT-proBNP の測定を強く推奨されています。さらに、2022 年に改訂された米国の心不全ガイドラインでは、**心不全を疑う NT-proBNP のカットオフ値を 125 pg/mL、BNP のカットオフ値を 35 pg/mL と低い値を推奨しており、心不全の早期診断を重要視している**と言えます。

以上の背景から、心不全を早期診断し治療することで病状の悪化を防ぎ、心不全患者さんの健康寿命を延ばすことが「BNP/NT-proBNP 外来」の主要な目的です。かかりつけ医の先生方におかれましては当科 BNP/NT-proBNP 外来に下記のような患者さんをぜひご紹介いただけますと幸いです。

**労作時息切れや下腿浮腫などの症状がある** または **生活習慣病\***を少なくとも**1つ**もつ  
かつ

**BNP $\geq$ 35 pg/mL** あるいは **NT-proBNP $\geq$ 125 pg/mL**

\* 高血圧、糖尿病、心房細動、メタボリックシンドローム、慢性腎臓病、肥満、脂質異常症

無症状であっても、上記のような生活習慣病をもっている場合には心不全の進展リスクがあります。BNP/NT-proBNP が正常ではない場合には、BNP/NT-proBNP 外来での詳細な心不全リスク評価をご活用ください。

心不全の診断がついた場合には、ガイドラインに準じた適切な薬物療法、場合によってはカテーテル治療などをご提案させていただきます。原則、逆紹介させていただき、かかりつけ医の先生のもとでのご診療をお願いさせていただいております。また、息切れの原因疾患が呼吸器疾患をはじめとする他疾患のこともあり、その際には専門医に適切に紹介いたします。

【本件に関する問合せ】

群馬大学医学部附属病院 循環器内科 助教 小保方 優

TEL : 027-220-8145

E-MAIL : [obokata.masaru@gunma-u.ac.jp](mailto:obokata.masaru@gunma-u.ac.jp)